

あきる野市自殺対策推進計画（案）の修正内容について

1 パブリックコメント募集用の計画案を次のように修正し、最終案を作成しました。

(1) P 4 2 自殺に追い込まれる背景

<修正理由> 出典元のNPO法人ライフリンクより、修正の依頼があったため。

<修正内容>

① 4行目

「過労、負債、育児の悩み、介護・看病疲れ、いじめ、人間関係、生活苦、精神疾患など様々な要因があり～」

⇒ 「自殺に至る背景には、過労、負債、育児の悩み、介護・看病疲れ、いじめ人間関係、生活苦、精神疾患など様々な要因があり～」

② 注釈部分 ※¹NPO法人ライフリンク

「自殺者が3万人を超えた頃から自殺で親を亡くした子どもたちの活動を受け継ぎ、平成16年に発足した。国の自殺対策の推進に寄与している。」

⇒ 「“新しいつながりが新しい解決力を生む”をモットーに、自殺総合対策の推進に向けた様々な活動に取り組んでいる。」

(2) P 7 0 あきる野市自殺対策推進協議会委員名簿

<修正理由> 委員の交代があったため

<修正内容> 第3条第2項第4号委員（福祉関係者）に、南沢文江氏を追加

(3) P 7 5 相談窓口一覧

<修正理由> 相談しやすくなるよう考慮

<修正内容> 市役所相談窓口の電話番号を、代表電話から各係直通番号に修正

※概要版の相談先電話番号も同様に修正

2 事前送付資料からの修正点

(1) P 5 3 計画の位置付け

2行目

国の定める「自殺総合対策大綱」や東京都の「東京都自殺総合対策計画」の～
⇒国の定める「自殺総合対策大綱」及び東京都の「東京都自殺総合対策計画」の～

(2) P 2 1 3 関係団体ヒアリング結果

1行目

本計画の策定を行う上で、自殺対策推進協議会以外の関係団体を対象に、市が認識すべき課題や～
⇒本計画の策定を行う上で、自殺対策推進協議会以外の関係団体を対象に、令和元年8月から9月にかけて市が認識すべき課題や～

(3) P 2 7 ①自殺を防ぐネットワークの充実

要保護児童対策地域協議会

要保護児童とその家族について関係機関と情報共有を図り、自殺や心中との関連性について協議し、関係機関と連携して適切な支援につなげることで、自殺対策を推進します。
⇒要保護児童とその家庭について関係機関と情報共有し、自殺リスクの高い児童又は家庭については連携強化を図ることで自殺防止に努めるなど、自殺対策を推進します。

(4) P 3 0 ①市民の自殺を防ぐ職員意識の向上

子育て支援事業 1行目

保育士にゲートキーパー研修の受講を促し～
⇒保育士のゲートキーパー研修の受講により～

(5) P 3 2 ②市民及び関係団体の自殺防止意識の向上

推進委員のゲートキーパー研修の受講を促進し、地域の自殺リスクが高い人と思われる人を～
⇒推進委員のゲートキーパー研修の受講を促進し、地域の自殺リスクが高いと思われる人を～

(6) P 3 7 ①子育てや母子・父子・障がい者などの支援の充実

子育て支援拠点事業 1行目

母子保健窓口において～
⇒保健担当窓口において～

(7) P 3 8 ①子育てや母子・父子・障がい者などの支援の充実

母子・父子・女性相談事業

DV被害者は、うつ病やPTSD（心的外傷後ストレス障害）の精神疾患に罹患しているなど、自殺リスクが高い状況にある相談を受ける際には、被害者に寄り添い傾聴する中で、心の状態などを把握し、必要に応じて的確な関係機関につなげます。

他にも様々な問題を抱え、精神的にも不安定になっている相談者に寄り添い傾聴する中で、心の状態などを把握し、必要に応じて的確な関係機関につなげます。

⇒様々な問題を抱え、精神的にも不安定な相談者については、不安を和らげ、自殺リスクを軽減するよう適切な対応に努めます。

特に、うつ病やPTSD（心的外傷後ストレス障害）等に罹患しているなど、自殺リスクが高いDV被害者からの相談に対しては、被害者の気持ちに寄り添い傾聴する中で、心の状態などを把握し、必要に応じて適切な関係機関と連携しながら支援に当たります。